国土交通省
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

記 者 発 表 資 料

がんばろう！東北

平成２３年９月１５日
東 北 地 方 整 備 局

東北地方太平洋側ＧＰＳ波浪計が復旧しました

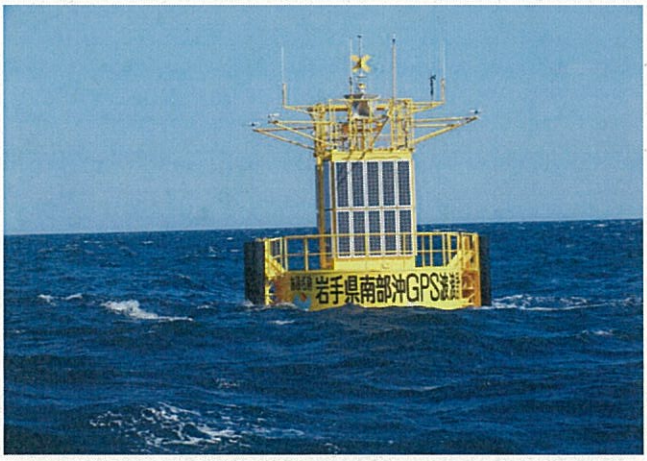
３月１１日に発生した東北地方太平洋沖地震津波により、陸上通信回線が被災し、ＧＰＳ波浪計観測データが伝送できない状態であった岩手北部沖及び岩手南部沖の２箇所のＧＰＳ波浪計が復旧しましたのでお知らせします。

これをもちまして、本日より、東北地方太平洋側の７基のうち、震災前から調整中であった青森東岸沖の１箇所を除く６箇所のＧＰＳ波浪計の観測データをインターネットで閲覧できるようになりました（URL:http://www.mlit.go.jp/kowan/nowphas/）。

残る青森東岸沖のＧＰＳ波浪計については、ＧＰＳ波浪計本体を陸上に引き揚げ、不具合の原因を調査した上で補修を行いこととしており、平成２３年度の復旧を目指しています。

今般の大震災において、ＧＰＳ波浪計の観測データが活用され、気象庁が発した津波警報における津波高が引き上げられるなど、避難対策として有効であることが改めて確認されたことから、電源のバックアップや通信システムの多重化、情報提供ルートの多様化等、信頼性を向上させる方策を検討していくこととしています。

◆復旧したＧＰＳ波浪計



今回復旧したＧＰＳ波浪計（岩手南部沖）

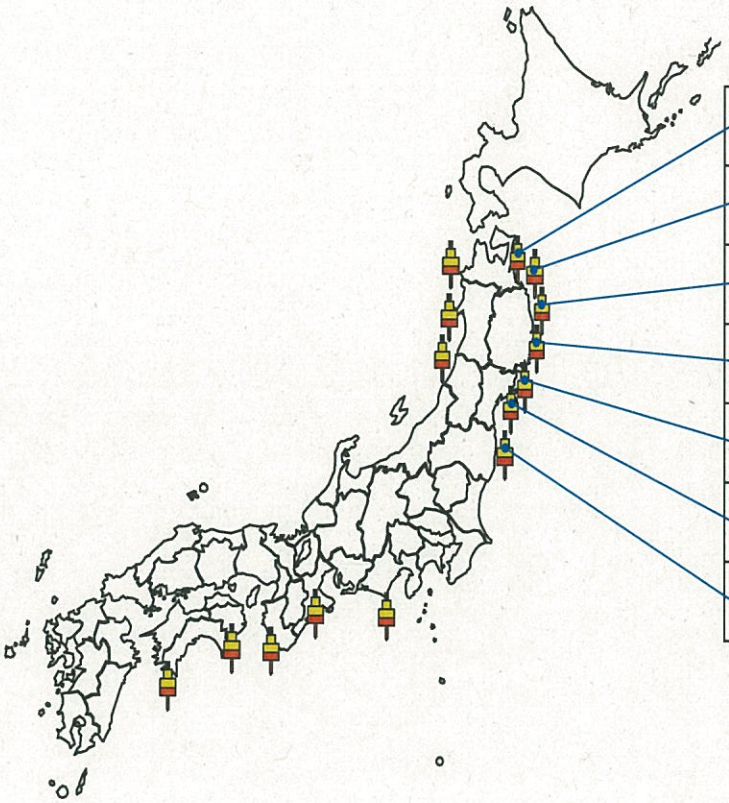
〈発表記者会〉

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

【お問い合わせ先】　東北地方整備局　港湾空港部　海洋環境・技術課
課　　長：千 葉　秀 樹
課長補佐：安 井　哲 博
電　　話：022-716-0004 、ＦＡＸ：022-716-0017

【添付資料－１】

国土交通省港湾局では、平成１８年度よりＧＰＳ波浪計による沖合波浪観測体制の整備を進めており、現在１５基（東北地方太平洋側７基、東北地方日本海側３基、静岡御前崎沖、三重尾鷲沖、和歌山南西沖、高知西部沖、徳島海陽沖に各１基）を運用しています。



太平洋側のＧＰＳ波浪計の復旧状況

青森東岸沖	東日本大震災以前に故障しており、現在調査中です。
岩手北部沖	9月15日より復旧しました。
岩手中部沖	5月12日より仮復旧しておりましたが、9月15日より、(本)復旧しました。
岩手南部沖	9月15日より復旧しました。
宮城北部沖	5月2日より復旧しました。
宮城中部沖	5月3日より復旧しました。
福島県沖	8月1日より復旧しました。

※一般の方が情報を閲覧する方法としては、インターネットを利用して【リアルタイムナウファス（国土交通省港湾局）】のwebサイトにアクセスしていただければ閲覧が可能です。